

|                        |   |
|------------------------|---|
| 授業科目名                  | 教育制度論演習   |
| 科目番号                   | CB24012   |
| 単位数                    | 1.0 単位  |
| 標準履修年次                 | 3 年次  |
| 時間割                    | 春AB 月2  |
| 担当教員                   | 藤井 穂高   |
| 授業概要                   | 教育政策において、「資質・能力」(コンピテンシー)がどのように論じられているのか、国内外の施策を取り上げ、その内容を検討する。   |
| 備考                     | 対面  |
| 授業方法                   | 演習  |
| 学位プログラム・コンピテンスとの関係     | 教育学の基礎的体系的知識、教育学的実践力  |
| 授業の到達目標(学修成果)          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育制度論的な分析の視点から教育改革を検討することができる。</li> <li>・ 今日の教育政策における資質・能力論の特徴を整理し、批判的に検討することができる。</li> </ul>  |
| 授業計画                   | <p>近年、わが国では大学入試改革が政策課題となっている。いくつかの改革を経てきているはずなのに、教育制度上の課題であり続けているのはなぜか。その改革の論理を諸外国とわが国の先行研究を踏まえて検討する。</p> <p>第1回 オリエンテーション、今日の教育政策における資質・能力論の概説<br/> 第2回 松下論文の検討<br/> 第3回 松尾論文の検討<br/> 第4回 平塚論文の検討<br/> 第5回 水原論文の検討<br/> 第6回 鳶島論文の検討<br/> 第7回 今西論文の検討<br/> 第8回 福田論文の検討<br/> 第9回 石井論文の検討<br/> 第10回 資質・能力論の今後の展開の可能性<br/> 第11回 試験</p>   |
| 履修条件                   |   |
| 成績評価方法                 | 担当論文に関する報告(30%)、議論への参加(20%)、試験(50%)を総合して評価する。   |
| 学修時間の割り当て及び授業外における学修方法 | 毎回の検討論文について事前に読み、論点を検討しておくこと。   |
| 教材・参考文献・配付資料等          | <p>資料は毎回の授業で配布する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 松下佳代(2010),「序章 &lt;新しい能力&gt;概念と教育」同編『&lt;新しい能力&gt;は教育を変えるか』ミネルヴァ書房</li> <li>2. 松尾知明(2016),「知識社会とコンピテンシー概念を考える OECD国際教育指標(INES)事業における理論的展開を中心に」、『教育学研究』83-2.</li> <li>3. 石井英真(2016),「資質・能力ベースのカリキュラムの危険性と可能性」、『カリキュラム研究』25.</li> <li>4. 平塚真真樹(2006),「移行システム分解過程における能力観の転換と社会関係資本」、『教育学研究』74-4</li> <li>5. 福田誠治(2008),「グローバリズムと学力の国際戦略」、『教育学研究』75-2</li> <li>6. 鳶島修治(2010),「『生きる力』の再定義をめぐるポリティックス」、『年報社会学論集』23</li> </ol> |

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 教材・参考文献・配付資料等                   | 7. 今西幸蔵(2008),「OECDとキー・コンピテンシー」『学校教育研究』23<br>8. 水原克敏(2017),「教育課程政策の原理的課題」、『教育学研究』84-4 |
| オフィスアワー等(連絡先含む)                 | 月曜、木曜、金曜の4限   |
| その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)         | 参加型の授業形態をとるため、そうした形態に意欲をもって臨めることが望ましい。  |
| 他の授業科目との関連                      |   |
| ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA) |   |
| キーワード                           | 教育制度, 資質・能力, 教育改革   |